

## 平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「マルチカルチャーキャンプ！！」 ～信州在住ブラジル人子弟と信州の子ども達の交流～
事業主体 (連絡先)	体験創庫かけはし 390-1401 長野県松本市波田 1828-1 0263-92-1508(TEL/FAX)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	813,166円 (うち、支援金 422,000円)

### 事業内容

信州に在住するブラジル人学校の子弟と教員・保護者が、信州生まれの子ども達とキャンプをする中で交流を行い、生活を共にする体験を通じて国際的感覚を養う機会とする。信州で活躍する体験活動の指導者、及びマルチカルチャーキャンプの参加経験がある他県の指導者を中心に、奈川地域の自然環境を活かしたプログラムを盛り込み、地域活性化と相互交流のイベントとして企画実施を行った。

(活動写真)



### 事業効果

野外活動の機会が少ない在日(信州在住)ブラジル人学校の子供達と教員・保護者にとって、キャンプを通じた「生きる力」を育む体験をする事ができた。さらに信州生まれの子ども達との交流を、信州で活躍する指導者が携わる事で地域活性化を促し、各人の立場で「国際交流」と「自然の素晴らしさ」に対する気づきと学びを得る機会となった。

※1 自己評価 (事業実施率) 【B】

#### 【目標・ねらい】

- 子ども達の交流
- 地域事業者の活用
- 地域指導者の活躍場所の提供
- 長野県における新しい国際交流事業のモデルケース

### 今後の取り組み

昨年に引き続き、キャンプ事業を通じて県内のブラジル人学校(2校)との連携が強くなった。今年度の課題として参加者数が予定より減ってしまったことは、開催時期や場所など検討を要する結果であったので、来年度に本キャンプを実施する際の反省点として生かしながら継続した活動としたい。また、キャンプ以外にも日帰りのアウトドアイベントなどを企画して、さらに多くの子ども達が「自然体験・野外活動・国際交流」というキーワードでかけがえのない体験ができるよう事業を拡げていきたいと考えている。

※2 自己評価 (事業効果) 【B】

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。

※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある